

第2期富山市まち・ひと・しごと総合戦略で設定する基本目標に対する数値目標

【進捗の指標】

A. 目標達成に向けて進捗している

◎. 2018年度末時点で目標を達成している

○. 2018年度末時点で目標を達成していないものの、2019年度に目標を達成する見込み

B. 現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現しておらず、目標の達成に至らないもの

資料2-3

| 【基本目標1】産業活力の向上により、安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～ | | | | |
|--|---------------------|--------------------|-------------------------|------------|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 |
| (新)工業統計における従業者4人以上の事業所の年間製造品出荷額等 | 12,550億円 (H28年度) | 13,590億円 (R6年度) | ・経済産業省(工業政策課) 工業統計調査 | 毎年度更新(6月頃) |
| (新)富山市内における雇用保険被保険者数 | 173,796人 (H30年度) | 174,000人 (R6年度) | ハローワーク富山(富山市を管轄)調べ | 毎年度更新 |
| (新)富山市内における正社員の有効求人倍率 | 1.51倍 (H30年度) | 1.51倍 (R6年度) | ハローワーク富山(富山市を管轄)調べ | 毎年度更新 |

| 【基本目標2】交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる ～選ばれるまち～ | | | | |
|---|----------------------|---------------------|--------------------------------------|------------|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 |
| (1)人口の社会増[転入-転出] ※「富山県の人口」(富山県) | 4,014人 (H26～30年度) | 2,500人 (R2～R6年度) | とやま統計ワールド:人口移動調査「富山県の人口」第5表 市町村別人口動態 | 毎年度更新(3月頃) |
| (2)マルチハビテーションの推進 | 2件/年 (30年度) | 10件 (R2～R6年度) | 居住対策課の補助実績 | 毎年度更新 |
| (3)交流人口(観光客入込数) | 798万人/年 (H30年度) | 821万人/年 (R6年度) | ・観光政策課調べ ・観光客入込数(観光イベント+観光施設) | 毎年更新(6月頃) |
| (新)県内大学卒業生の県内就職率 | 43.5% (H30年度) | 50% (R4年度(暫定)) | 富山県の高等教育機関(富山県) | 毎年更新 |
| (新)県内高校出身の県外大学生のUターン就職率 | 58.4% (H30年度) | 60% (R4年度(暫定)) | 富山県労働雇用課調べ | 毎年更新 |

| 【基本目標3】生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～ | | | | |
|--|---------------------------------------|--|------------------------|--------------------------|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 |
| (1)合計特殊出生率 | 1.55 (H30年度) | 1.57 (R6年度) | 各市町村の合計特殊出生率について県より報告 | 毎年(11月～3月頃) |
| (2)現在の健康状態について健康であると感じている市民の割合 ※「健康づくりに関する市民意識調査」 | 81.1% (H28年度) | 86.0% (R3年度(暫定)) | 健康づくりに関する市民意識調査 | 「健康プラン21」作成の基礎調査(令和3年予定) |
| (3)健康な高齢者の割合 (65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合) | 前期高齢者:95.7% 後期高齢者:66.6% (H30年度) | 前期高齢者:96%以上維持 後期高齢者:66%以上維持 (R3年度(暫定)) | 介護保険事業状況報告(厚生労働省) | 毎年度9月分の月報が公表された時 |
| (4)保育ニーズの充足 | 待機児童ゼロ (R元年度) | 待機児童ゼロ (R2～R6年度) | ・厚生労働省 保育所等の待機児童数の状況調査 | ・毎年度4・10月時点 |

| 【基本目標4】持続可能な都市経営・まちづくりを推進する ～公共交通を軸としたコンパクトなまち～ | | | | |
|--|---|--|-----------------------------|------------------------------|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 |
| (1)沿線居住(公共交通が便利な地域に住む)人口の割合 | 38.8% (R元年度) | 41.5% (R6年度) | 都市的指標調査 | 毎年度10～12月頃 |
| (2)中心市街地における人口の社会増[転入-転出] | 113人/年 (H18～R元年度平均) | 370人 (R2～R6年度) | 都市的指標調査 | 毎年度10～12月頃 |
| (3)公共交通1日平均利用者数の富山市人口あたりの割合 | 15.7% (H30年度) | 15.8% (R6年度) | 各交通事業者の利用者数 富山市人口 | 毎年6月頃・年1回 |
| (4)富山駅周辺地区の歩行者数 ※「歩行者通行量調査」(富山市・富山商工会議所) | ①平日:32,265人/日 ②日曜:34,947人/日 (H30年度) | ①平日:40,000人/日 ②日曜:32,000人/日 (R6年度) | 歩行者通行量調査(富山市・富山商工会議所) | 毎年度更新(3月末頃) |
| (5)総曲輪通りの歩行者数 ※「歩行者通行量調査」(富山市・富山商工会議所) | 日曜:25,300人/日 (H30年度) | 日曜 3,500人程度の増加 (R2～R6年度) | 歩行者通行量調査(富山市・富山商工会議所) | 毎年度更新(3月末頃) |
| (新)エネルギー効率の改善ペース | 0.5% (H27年度) | 1.1% (R4年度) | ・環境政策課調べ ・富山市エネルギー効率改善計画 | ・毎年度更新(3月頃) ※最新値はN-2年度のもの |

(参考)第1期富山市まち・ひと・しごと総合戦略

| 【基本目標1】安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～ | | | | | |
|---|---------------------|--------------------|------------------|---|----|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 | 進捗 |
| (1)市内事業所従業者数 ※「経済センサス調査」(総務省) | 217,643人 (H24年度) | 220,000人 (R元年度) | ・総務省 経済センサス調査 | 基礎調査はR元(R2公表) 活動調査はR3(R4公表)(予定) ※5年周期 | C |

| 【基本目標2】交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる ～選ばれるまち～ | | | | | |
|---|-----------------------|----------------------|--------------------------------------|------------|----|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 | 進捗 |
| (1)人口の社会増[転入-転出] ※「富山県の人口」(富山県) | 1,454人 (H22～H26年度) | 1,500人 (H27～R元年度) | とやま統計ワールド:人口移動調査「富山県の人口」第5表 市町村別人口動態 | 毎年度更新(3月頃) | A◎ |
| (2)マルチハビテーションの推進 | 3件/年 (H26年度) | 10件 (H27～R元年度) | 居住対策課の補助実績 | 毎年度更新 | AO |
| (3)交流人口(観光客入込数) | 661万人/年 (H26年度) | 700万人/年 (R元年度) | ・観光政策課調べ ・観光客入込数(観光イベント+観光施設) | 毎年更新(6月頃) | A◎ |

| 【基本目標3】生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～ | | | | | |
|--|---------------------------------------|--|------------------------|--------------------------|----|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 | 進捗 |
| (1)合計特殊出生率 | 1.43 (H25年度) | 1.72 (R元年度) | 各市町村の合計特殊出生率について県より報告 | 毎年(11月～3月頃) | B |
| (2)現在の健康状態について健康であると感じている市民の割合 ※「健康づくりに関する市民意識調査」 | 79% (H25年度) | 86% (R元年度) | 健康づくりに関する市民意識調査 | 「健康プラン21」作成の基礎調査(令和3年予定) | C |
| (3)健康な高齢者の割合 (65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合) | 前期高齢者 95.9% 後期高齢者 65.7% (H26年度) | 前期高齢者 96%以上維持 後期高齢者 66%以上維持 (R元年度) | 介護保険事業状況報告(厚生労働省) | 毎年度9月分の月報が公表された時 | AO |
| (4)保育ニーズの充足 | 待機児童ゼロ (H27年度) | 待機児童ゼロ (R元年度) | ・厚生労働省 保育所等の待機児童数の状況調査 | ・毎年度4・10月時点 | A◎ |

| 【基本目標4】公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進める ～コンパクトシティの推進～ | | | | | |
|--|---|--------------------------------|-----------------------|-------------|----|
| 目標 | 基準値 | 目標値 | 数値更新の際の出典元 | 数値の更新時期・頻度 | 進捗 |
| (1)沿線居住(公共交通が便利な地域に住む)人口の割合 | 32% (H26年度) | 38.6% (R元年度) | 都市的指標調査 | 毎年度10～12月頃 | AO |
| (2)中心市街地における人口の社会増[転入-転出] | 78人/年 (H26年度) | 390人 (H27～R元年度) | 都市的指標調査 | 毎年度10～12月頃 | A◎ |
| (3)公共交通1日平均利用者数の富山市人口あたりの割合 | 13.7% (H26年度) | 15.3% (R元年度) | 各交通事業者の利用者数 富山市人口 | 毎年6月頃・年1回 | A◎ |
| (4)富山駅周辺地区の歩行者数 ※「歩行者通行量調査」(富山市・富山商工会議所) | ①平日:38,924人/日 ②日曜:30,420人/日 (H26年度) | 平日、日曜 4,000人程度の増加 (R元年度) | 歩行者通行量調査(富山市・富山商工会議所) | 毎年度更新(3月末頃) | AO |
| (5)総曲輪通りの歩行者数 ※「歩行者通行量調査」(富山市・富山商工会議所) | 日曜:19,075人/日 (H25年度) | 日曜 2,000人程度の増加 (R元年度) | 歩行者通行量調査(富山市・富山商工会議所) | 毎年度更新(3月末頃) | A◎ |

【基本目標1】
産業活力の向上により、安定した雇用を創出する～地方の中核を担う都市として躍動するまち～

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-------------------------------|----------------|-------|--|-------------------------------------|----------------------|---------------------|-----------------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化 | | | | | | | |
| 1-01 | 新商品の販路開拓支援 | 商工労働部 | ベンチャー企業等が開発した新技術を盛り込んだ新商品の市場の創出を促進し、販路開拓を支援する。 | ベンチャー企業等新商品市場創出促進助成金交付件数 | 6件/年(平成30年度) | 30件(累計) | ベンチャー企業等支援事業 |
| | | | 削除 | | | | |
| 1-02 | 中小企業の創業等の支援 | 商工労働部 | これから創業する中小企業者や創業後、間もない中小企業者の資金調達を支援する。 | 創業者支援資金の新規融資件数 | 32件/年(平成28～30年の平均) | 175件(累計) | 商工業振興資金等貸付事業 |
| [基本的方向:イ]新産業の創出及び民間と協働した地域経営 | | | | | | | |
| 1-03 | PPP/PFI事業の活用促進 | 企画管理部 | 公共施設マネジメントの取組を一層深化させるとともに、市の資産を有効活用した公民連携による雇用を創出する。 | 本庁舎北側公有地活用事業による新規雇用者数 | 新規 | 18人(累計) | 本庁舎北側公有地活用事業 |
| 1-04 | オープンデータの活用促進 | 企画管理部 | 市が保有する情報資産のうち、公開可能なデータの検討を進める。また、新たに観光地、文化財等の画像データの公開に向けて取り組む。 | オープンデータサイト公開データセット数 | 82件/年(平成30年度) | 125件(累計) | オープンデータ活用推進事業 |
| 1-05 | 企業版ふるさと納税の活用促進 | 企画管理部 | 本市と企業が連携し、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の活用を促進することで新たな資金の流れを創出する。 | 企業版ふるさと納税を活用し本市へ寄付を行った企業数 | 新規 | 3社(累計) | 認定地域再生計画に係る事業 |
| [基本的方向:ウ]農林水産業の成長産業化 | | | | | | | |
| 1-06 | えごまの6次産業化 | 環境部 | 富山産えごまの生産体制の確立及び富山えごま関連商品の拡充により産業の活性化を図る。 | 富山えごま認定商品数 | 84商品(平成30年度末) | 140商品(累計) | えごま6次産業化推進事業 |
| 1-07 | 農業に関わる人材育成と支援 | 農林水産部 | 農作業のサポートを担う農業サポーターの育成や、農業サポーターと農業者とのマッチング等による就労支援を行う。 | ①農業サポーター登録者 | 766人(平成30年度) | 900人(令和6年度) | 楽農学園事業 |
| | | | ②農業サポート新規マッチング成約件数 | 14件(平成30年度) | 50件(累計) | 楽農学園事業 | |
| 1-08 | 園芸作物の振興対策 | 農林水産部 | 水田フル活用による園芸作物の生産拡大と特産化を推進し、本市の農林業の振興を図る。 | 主要高収益作物(野菜4品目:キャベツ、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん) | 栽培面積: 32.7ha(平成30年度) | 栽培面積: 39.9ha(令和6年度) | とやま型水田フル活用促進単独助成事業 地域農産物生産支援事業 |
| 1-09 | スマート農業導入の実証 | 農林水産部 | 無人トラクター等を導入し、その労働時間の短縮や正確性、効率化などの効果を検証する。 | スマート農業機器導入台数(市補助分) | 1台(平成30年度) | 15台(累計) | スマート農業導入実証モデル事業 |

(参考)第1期富山市まち・ひと・しごと総合戦略

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|-------------------------------|-------------------|--|---------------------------|---------------|----------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化 | | | | | | |
| 商工労働部 | 新商品の販路開拓支援 | ①新商品等を展示会等に出展または広告等を行う中小企業を支援する。 ②販路開拓まで取り組む余裕のない小規模企業等に対して、商品評価や市場ターゲット調査等の販路開拓に関する総合的な支援を行う。 | ①ベンチャー企業等新商品市場創出促進助成金交付件数 | 4件/年(過去3年平均) | 7件/年 | AO |
| | | | ②販路開拓総合支援件数 | ※新規 | 5社/年 | B |
| 商工労働部 | 中小企業の創業等の支援 | これから創業する中小企業者や創業後、間もない中小企業者の資金調達を支援する。 | 創業者支援資金の新規融資件数 | 44件/年(過去3年平均) | 50件/年 | AO |
| [基本的方向:イ]新産業の創出及び公民連携による雇用の創出 | | | | | | |
| 企画管理部 | 中心市街地における小学校跡地の活用 | 小学校跡地をPPPの活用等により再整備し、これによる新事業創出により、新規雇用を生み出す。 | 新規雇用人数 | ※新規 | 65人(累計) | A◎ |
| 企画管理部 | オープンデータの活用促進 | 富山市が持つ情報資産をオープンデータとして公開し、 ①民間企業の新事業創設による地域経済の活性化 ②官民協働による新たな公共サービスの実現 ③行政の透明性・信頼性の向上等に向けた活用を促進する。 | オープンデータとして公開する情報資産 | ※新規 | 90件(累計) | AO |
| [基本的方向:ウ]農林水産業の成長産業化 | | | | | | |
| 環境部 | エゴマの6次産業化 | 富山市が特産化を進める「エゴマ」の6次産業化を推進するため、エゴマオイルの健康面での有用性のアピール等により、エゴマのグローバルブランド化を目指す。 | エゴマオイル関連商品等の展開による雇用創出 | ※新規 | 30人(累計) | B |
| 農林水産部 | 農業に関わる人材育成の支援 | 農作業のサポートを担う農業サポーターの育成や、農業サポーターと農業者とのマッチング等による就労支援を行う。 | ①農業サポーター新規登録者 | 35人(26年度) | 200人(累計) | AO |
| | | | ②農業サポート新規マッチング成約件数 | 19件(26年度) | 100件(累計) | B |
| 農林水産部 | 薬用植物等の振興対策 | 漢方薬や健康食品の原料となる薬用植物等の生産拡大を通じて中山間地域における農林業の振興を図る。 | 薬用植物等栽培面積(エゴマを除く) | 4.2ha(26年度) | 10ha | B |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-------------------------|----------------------------|-------|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| 1-10 | スマート農業機械である除草ロボットの研究調査 | 農林水産部 | 株間除草ロボットの試作品テスト運転を行うとともにその効果を検証する。 | 株間除草ロボットによる処理面積 | 新規 | 2ha(累計) | 株間除草ロボット研究調査事業 |
| 1-11 | 海外市場開拓の支援 | 農林水産部 | 海外での商談会に出展し、ブースでの試食及び商談を通して市内産農産物のPRを行うとともに販路開拓を目指す。 | 海外での試食会及び商談会への出展事業者数 | 新規 | 延べ25事業者(累計) | 農林水産物プロモーション推進事業 |
| 1-12 | 国内市場開拓の支援 | 農林水産部 | 国内で開催される見本市等に出展し、ブースでの試食及び商談を通して市内農産物のPRを行うとともに販路開拓を目指す。 | 国内での試食会及び商談会への出展事業者数 | 新規 | 延べ25事業者(累計) | 農林水産物プロモーション推進事業 |
| [基本的方向:エ]サービス産業の活性化 | | | | | | | |
| 1-13 | 健康長寿コンシェルジュ・サービス | 福祉保健部 | 総曲輪レガートスクエアを拠点に、その構成企業と運営体をつくり、市民向けに運動・食育等のプログラムを開催する。 | 開催するプログラム数 | 4件(令和元年度) | 25件(累計) | 健康長寿コンシェルジュ・サービス事業 |
| [基本的方向:オ]企業誘致の促進 | | | | | | | |
| 1-14 | 企業誘致・企業立地の奨励 | 商工労働部 | ①県内企業への企業団地のPR活動を行う。 | ①誘致・立地をPRLした企業数 | 39社(平成30年度) | 320社(累計) | 企業誘致対策事業 |
| | | | ②商工業振興条例に基づいた事業などを実施する企業に対して助成を行う。 | ②設備投資助成件数 | 54件/年(平成28～30年度の平均) | 366件(累計) | 企業立地奨励事業 |
| [基本的方向:カ]雇用のマッチングの強化 | | | | | | | |
| 1-15 | 求職者への職業紹介 | 商工労働部 | 求職者や就労支援が必要な者に対し、就労相談や職業紹介等を実施する。 | 富山市無料職業紹介所の来所者数 | 1,943人/年(平成30年度) | 10,000人(累計) | 無料職業紹介事業 |
| 1-16 | 高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング | 商工労働部 | 長年の勤務経験による優れた技能や高度なノウハウを持ち、働く意欲のある65歳以上の高齢者と即戦力となる人材を求める企業とのマッチングを行い、高齢者の活躍機会の拡大を図る。 | 富山市スーパーシニア活躍促進人材バンクのマッチング件数 | 14件/年(平成30年度) | 75件(累計) | 高齢者雇用推進事業(高齢者人材バンク運営事業) |
| [基本的方向:キ]企業に関する情報発信の充実 | | | | | | | |
| 1-17 | 若年者の就職支援 | 商工労働部 | 若者のUIJターン就職の促進や県外流出の抑制のため、就職を希望する学生等を対象とした就職セミナーや企業説明会等を通じた市内企業の情報提供を行う。 | 企業説明会の参加者数 | 661人/年(平成30年度) | 4,000人(累計) | 若年者就職支援事業 |
| [基本的方向:ク]大学・高等学校等との連携強化 | | | | | | | |
| 1-18 | 大学・高等学校等との連携 | 企画管理部 | 大学や高等学校等と連携し、高校生や県外出身者を含む大学生、その保護者に対し本市の魅力を発信する。 | 大学・高等学校等と連携した授業・講演会の開催 | ①回数:6回 ②参加者数:820人(令和元年度) | ①回数:35回 ②参加者数:5,000人(累計) | 多様な働き方推進事業 高等教育機関との連携事業 |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|--------------------------|----------------------------|--|---------------------------------|---------------|----------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| [基本的方向:エ]サービス産業の活性化 | | | | | | |
| 企画管理部・福祉保健部 | 富山市型ヘルスケア産業の創出支援 | 富山市の食、自然、くすり、歴史・文化等の地域資源を活用したヘルスケア産業を産学官民金が連携して創出する。 | 特別目的会社設立による新規雇用創出 | ※新規 | 4名(累計) | B |
| [基本的方向:オ]企業誘致の促進 | | | | | | |
| 商工労働部 | 企業立地の奨励 | ①商工業者の育成と企業立地の促進を図り、地域経済の活性化と雇用の創出を推進する。 ②本市の企業団地の未分譲地が少ないことから、企業が所有している空き工場用地等の情報提供により、新たに工場等を求める事業者とのマッチング等を行う。 | ①設備投資助成件数 | 46件/年(過去3年平均) | 50件/年 | A◎ |
| | | | ②空き工場等用地マッチング成立件数 | 26件/年(過去6年平均) | 30件/年 | B |
| [基本的方向:カ]雇用のマッチングの強化 | | | | | | |
| 商工労働部 | 求職者への職業紹介 | 求職者や就労支援が必要な者に対し、就労相談や職業紹介等を実施する。 | 富山市無料職業紹介所の来所者数 | ※新規(27年度～) | 2,400人/年 | B |
| 商工労働部 | 高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング | 長年の勤務経験による優れた技能や高度なノウハウを持ち、働く意欲のある65歳以上の高齢者と即戦力となる人材を求める企業とのマッチングを行い、高齢者の活躍機会の拡大を図る。 | 富山市スーパーシニア活躍促進人材バンクのマッチング件数(累計) | ※新規(29年度～) | 20件(累計) | AO |
| [基本的方向:キ]企業に関する情報発信の充実 | | | | | | |
| 商工労働部 | 若年者の就職支援 | 若者が県外へ流出することを抑制するため、市内企業への就職の契機となるよう、就職を希望する学生に対して、市内企業からのプレゼンテーションを行う企業説明会実施等を通じた情報提供等を行う。 | 企業説明会の参加者数 | 405人/年(26年度) | 650人/年 | A◎ |
| [基本的方向:ク]地(知)の拠点大学との連携強化 | | | | | | |
| 企画管理部 | | | | | | |

【基本目標2】
交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる～選ばれるまち～

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-----------------------------|--------------------|---------|---|-------------------------------------|---------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]地方移住の推進・関係人口の創出 | | | | | | | |
| | | | 削除 | | | | |
| 2-01 | 中古住宅の活用 | 活力都市創造部 | 市内の空き家について市ホームページにおいて情報提供し、住宅を求めている方とのマッチングを図る。 | ①富山市空き家情報バンクへの新規物件登録件数 ②成約件数 | 新規物件登録件数5件/年(平成30年度) - | 新規物件登録件数25件(累計) 成約件数5件(累計) | 富山市空き家情報バンク 富山市空き家情報バンク |
| 2-02 | 2地域居住への支援 | 活力都市創造部 | 2地域居住のための住宅取得に対し支援する。 | マルチハビテーション推進事業補助金交付件数 | 2件/年(平成30年度) | 10件(累計) | 富山市マルチハビテーション推進事業 |
| 2-03 | ふるさとでの同居促進 | 活力都市創造部 | 郊外部において子世帯が親世帯と新たに同居するために親世帯の住宅をリフォーム等した場合に支援を行う。 | ふるさと回帰リフォーム等補助事業を活用し親世帯と新たに同居した人数 | 1人/年(令和元年度見込み) | 75人(累計) | ふるさと回帰リフォーム等補助事業 |
| 2-04 | ビジネス交流促進による関係人口の拡大 | 企画管理部 | 地域課題解決型の官民連携プラットフォーム「とやまシティラボ」の空間整備及び運営を行う。 | とやまシティラボで実施する課題解決型プロジェクトへの市外からの参加人数 | 新規 | 300人(累計) | とやまシティラボ推進事業 |
| [基本的方向:イ]広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 | | | | | | | |
| 2-05 | コンベンション開催支援 | 商工労働部 | コンベンションや合宿の開催支援により、全国からコンベンションや合宿の誘致を促進し、交流人口の増加と地域の活性化を図る。 | コンベンション等参加総数 | 43,088人(平成30年度) | 47,400人(令和6年度) | コンベンション開催支援事業 |
| 2-06 | 外国人観光客の誘致促進 | 商工労働部 | 本市の魅力ある観光地を海外旅行エージェントや海外メディアに対して情報発信し、外国人観光客の誘致促進を図る。 | 市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数 | 137,806人(平成30年度) | 152,000人(令和6年度) | 外国人観光客誘致宣伝事業 |

(参考)第1期富山市まち・ひと・しごと総合戦略

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|-----------------------------|-----------------------|--|------------------------------|-----------------|----------------|--------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]地方移住の推進 | | | | | | |
| 企画管理部 | 中心市街地における小学校跡地の活用(再掲) | 小学校跡地をPPPの活用等により再整備し、新たな人の流れを生み出す。 | 新たに整備される高等教育機関に通う生徒の数 | ※新規 | 800人/年 | B |
| 農林水産部 商工労働部 | 「地域おこし協力隊」制度の活用 | 国の「地域おこし協力隊」制度を活用して、都市部から地域の担い手となる人材を確保し、特産物の生産、加工・販売等地域の農業活動への参画及び滞在型・交流型観光の担い手として本市の魅力の発掘・発信への参画を通じ、富山市への定住・定着を図る。 | 地域おこし協力隊員への支援及び活動後の定住 | ※新規 | 5人 | A◎ |
| 活力都市創造部 | 中古住宅の活用 | 空き家の有効活用及び富山市内への交流の取り組みにより、定住の促進を図る。 | ①空き家情報バンクへの登録件数 ②仲介件数 | 2件(26年度) - | 20件/年 10件/年 | B B |
| [基本的方向:イ]広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 | | | | | | |
| 商工労働部 | コンベンション開催支援 | コンベンションや合宿の開催支援により、全国からコンベンションや合宿の誘致を促進し、交流人口の増加と地域の活性化を図る。 | コンベンション、合宿参加者数 | 40,447人/年(26年度) | 61,800人/年 | A○ |
| 商工労働部 | 外国人観光客の誘致促進 | 本市の魅力ある観光地を海外旅行エージェントや海外メディアに対して情報発信し、外国人観光客の誘致促進を図る。 | 市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数(観光庁宿泊旅行統計調査) | 88,153人/年(26年度) | 209,000人/年 | A◎ |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-----------------------------|---------------------------|-------|---|---|----------------------|-------------------|-------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ウ]地域資源を活用したコンテンツづくり | | | | | | | |
| 2-07 | 富山ガラスのブランド化 | 企画管理部 | 富山ガラスの産業化を推進するため、富山ガラスの魅力を国内外に発信するとともに販路拡大に取り組み、ブランド価値の向上を図る。 | ①富山市ガラス美術館ショップガラス関連商品売上高 | ①18,360千円/年(平成30年度) | ①100,000千円(累計) | - |
| | | | | ②富山ガラス工房売上高 | ②136,854千円/年(平成30年度) | ②600,000千円(累計) | ガラスアートマネジメント推進事業 |
| 2-08 | 新商品開発に取り組む事業者への商品力向上支援 | 商工労働部 | 新商品等の開発に取り組む事業者に対し、商品開発・デザイン戦略・販売戦略をトータルにサポートし物産品の開発、PRや販路拡大を支援する。 | 食やくシリーズ(富山のお土産)販売数 | 32,000個(平成28~30年度平均) | 165,000個(累計) | 商品力向上支援事業 |
| 2-09 | くすり関連施設の整備 | 商工労働部 | 本市薬業の新興と「薬都とやま」のイメージアップを図ることを目的とし、薬をテーマとした施設の整備を行う。 | くすり関連施設の整備 | 新規 | 継続実施 | くすり関連施設整備事業 |
| [基本的方向:エ]大学・高等学校等との連携強化(再掲) | | | | | | | |
| [基本的方向:オ]シティプロモーションの推進 | | | | | | | |
| 2-10 | 選ばれるまちづくりの推進(シティプロモーション) | 企画管理部 | 富山市の認知度と都市イメージを高めることで、「暮らしたいまち」、「訪れたいまち」として「選ばれるまち」となるよう、本市の魅力を多様な視点から発掘し、効果的なシティプロモーションを展開する。 | ① TGC富山やANAとの連携事業等による富山市への来訪・イベント参加者 | 2,692人(平成30年度) | 12,000人(累計) | 選ばれるまちづくり事業(シティプロモーション) |
| | | | | ② HPの掲載動画、ショートアニメムービー、インスタグラム等による富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数 | 346,417人(平成30年度) | 580,000人/年(令和6年度) | 選ばれるまちづくり事業(シティプロモーション) |
| [基本的方向:カ]シビックプライドの醸成 | | | | | | | |
| 2-11 | 選ばれるまちづくりの推進(シビックプライドの醸成) | 企画管理部 | 本市が市外から訪れてみたい「まち」となることはもとより、市民からいつまでも「住み続けたい」と思ってもらうことや、進学等により、本市を一旦離れた方からも「帰りたい(homing)」と思ってもらえるような、市内外から選ばれる「まち」であるためには、市民一人ひとりが富山市に対して愛着や誇りを抱く、シビックプライドを高めることが重要であることから、「AMAZING TOYAMA」のキャッチフレーズのもと、市民とともに、まちの魅力を発掘・発信する。 | AMAZING TOYAMA フォトプロジェクト、インスタグラム、奥田塾等によるシビックプライド醸成事業への主体的参加者数 | 5,225人(平成30年度) | 26,500(累計) | 選ばれるまちづくり事業(シビックプライド醸成) |
| | | | | 富山市民意識調査による富山市民であることに愛着や誇りを感じる割合(富山市の印象) | 72.4%(平成30年度) | 74%(令和5年) | 選ばれるまちづくり事業(シビックプライド醸成) |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|------------------------------|---------------------------|--|-------------------------------------|--------------------|--------------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ウ]地域資源を活用したコンテンツづくり | | | | | | |
| 企画管理部 | 富山ガラスのブランド化 | ガラスの普及啓発と産業化の推進のため、ガラスの魅力を全国に発信し、「Toyama・Glass(富山ガラス)」のブランド価値の構築を図る。 | 富山ガラス工房売上高 | 125,375千円(26年度) | 130,000千円/年 | A◎ |
| | | | 食やくシリーズ(富山のお土産)販売数 | 20,000個/年(27年度見込み) | 125,000個(累計) | |
| 商工労働部 | 新商品開発に取り組む事業者への商品力向上支援 | 新商品等の開発に取り組む事業者に対し、商品開発・商品デザイン戦略・販売戦略をトータルにサポートし、物産商品の開発、PRや販路拡大を支援する。 | 食やくシリーズ(富山のお土産)販売数 | 20,000個/年(27年度見込み) | 125,000個(累計) | A◎ |
| [基本的方向:エ]地(知)の拠点大学との連携強化(再掲) | | | | | | |
| [基本的方向:オ]シティプロモーションの推進 | | | | | | |
| 企画管理部 | 選ばれるまちづくりの推進(シティプロモーション) | 富山市の認知度と都市イメージを高めることで、「暮らしたいまち」、「訪れたいまち」として「選ばれるまち」となるよう、本市の魅力を多様な視点から発掘し、若年層から高齢者まで、それぞれのターゲットにあわせた効果的なシティプロモーションを展開する。 | ①シティプロモーション事業による富山市への来訪・イベント参加者数 | 726人(26年度) | 10,000人(累計) | A◎ |
| | | | ②シティプロモーション事業による富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数 | 208,050人(27年度見込み) | 253,000人/年 | A◎ |
| [基本的方向:カ]シビックプライドの醸成 | | | | | | |
| 企画管理部 | 選ばれるまちづくりの推進(シビックプライドの醸成) | 「選ばれるまち」とは、市外から選ばれることはもとより、市民にいつまでも「住み続けたい」と思ってもらうことや、大学の進学等により一旦本市を離れた市民に「帰りたい(homing)」と思ってもらえる「まち」であり、そのためには市民一人ひとりが富山市に対して愛着や誇りを抱く、シビックプライドを高めることが重要であると考え、「AMAZING TOYAMA」のキャッチフレーズのもと、市民とともに、まちの魅力を発掘・発信する。 | シビックプライド醸成事業への主体的参加者数 | 870人(27年度見込み) | 10,000人(累計) | A◎ |

【基本目標3】生活環境の一層の充実を図る～すべての世代が安心して暮らせるまち～

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-----------------------|-----------------------------------|--------|---|---|------------------------------------|------------------|--------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]子ども・子育て支援の充実 | | | | | | | |
| 3-01 | 希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進 | 子ども家庭部 | 若い世代から妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自らライフプランを考えることができるよう正しい知識の普及啓発を行う。また、働きながらも、希望する時期で妊娠・出産・子育てが実現できるような職場の環境づくりを推進する。 | ①出前講座開催回数 1回(平成30年度) | 年間5回(計画期間全体で25回) | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| | | | | ②フォーラム及びセミナー参加者数 196人(平成30年度) | 年間200人(計画期間全体で1,000人) | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| | | | | ③応援企業数 56社(平成28～30年度累計) | 68社(令和2～6年度累計) | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| 3-02 | 切れ目ない子育て支援:育児サポートネットワーク(富山版ネウボラ) | 子ども家庭部 | 保健福祉センター(子育て世代包括支援センター)で、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う。 | ①子育て世代包括支援センターの箇所数 7ヶ所(平成30年度) | 7ヶ所(継続) | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| | | | | ②子育て世代包括支援センターの個別支援者数 9,604人(平成30年度) | 事業を継続して実施する | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| | | | | ③妊娠・出産について満足している者の割合(「健やか21(第2次)調査票」において「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等から指導・ケアは十分に受けられましたか。」の問いに「はい」と回答したものの割合) 88.0%(H30年度) | 90.0%(R6年度) | 切れ目ない子育て支援体制構築事業 | |
| 3-03 | 地域子育て支援拠点等の整備 | 子ども家庭部 | 地域における親子の交流促進及び保護者の子育て不安感を緩和し、子どもの健やかな成長を促進することを目的に、拠点施設の運営を行うとともに、教育・保育・保健その他の子育て支援を円滑に利用できるよう必要な支援を行う。 | ①拠点箇所数 14ヶ所(公立2ヶ所指定管理2ヶ所私立認定こども園10ヶ所(委託)) | 15ヶ所(公立2ヶ所指定管理2ヶ所私立認定こども園11ヶ所(委託)) | 地域子育て支援拠点事業 | |
| | | | | ②地域子育て支援拠点等の整備 5ヶ所(平成30年度) | 5ヶ所継続実施(令和6年度) | 利用者(子育て)支援事業 | |
| 3-04 | 地域児童の健全な育成と子育て支援 | 子ども家庭部 | 子どもたちの健全な育成を図るため、地域児童健全育成事業実施及び、放課後児童健全育成事業への助成を行う。 | 子ども会及び放課後児童クラブの利用延べ人数 791,711人(平成30年度) | 4,175,000人(累計) | 地域児童健全育成事業 | |
| 3-05 | 生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所している子どもの進学奨励 | 福祉保健部 | 生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所している子どもに対する高校卒業後の修学支援と国家資格等の取得により就業を促し、貧困の世代間連鎖を防ぐ。 | 福祉奨学金給付事業を活用した大学等への新規進学者数 5人(平成28～30年度計) | 7人(累計) | 福祉奨学事業 | |
| 3-06 | ひとり親家庭の子どもの進学奨励 | 子ども家庭部 | ひとり親家庭の子どもに対し、大学等進学後の修学を支援するため、奨学金を給付する。 | ひとり親家庭奨学資金給付事業を活用した大学等への新規進学者数 9人/年(平成30年度) | 50人(累計) | 母子等福祉事業 | |

(参考)第1期富山市まち・ひと・しごと総合戦略

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|-----------------------|-----------------------------------|--|--|------------|-----|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:ア]子ども・子育て支援の充実 | | | | | | |
| 子ども家庭部 | 希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進 | 女性の希望する時期での妊娠・出産の実現を支援する。また、研修を受けた保健師による適切な情報提供等により、不妊に悩む夫婦の精神的負担の軽減を図るとともに、不妊治療の支援を行う。 | ①出前講座開催回数 ※新規 | 20回/年 | | B |
| | | | ②フォーラム及びセミナー参加者数 ※新規 | 300人/年 | | B |
| | | | ③応援企業数 ※新規 | 45社 | | A◎ |
| 子ども家庭部 | 切れ目ない子育て支援(ネウボラ) | 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を実施するため、保健福祉センターに「子育て世代包括支援センター」の機能を整え、「かかりつけ保健師」がきめ細やかな保健指導や支援を行う。 | ①子育て世代包括支援センターの箇所数 0ヶ所(27年度) | 7ヶ所 | | A◎ |
| | | | ②子育て世代包括支援センターの個別支援者数(妊婦相談・新生児・未熟児・妊産婦訪問等) 5,600人/年(27年度) | 8,000人/年 | | A◎ |
| 子ども家庭部 | 地域子育て支援拠点等の整備 | 子育て支援センターを整備するとともに、各種支援に関する情報提供や相談に応じる利用者(子育て)支援事業を実施することにより、地域における子育て家庭に対する支援の強化を図る。 | ①子育て支援センターの開設数 12ヶ所(27年度) | 15ヶ所 | | B |
| | | | ②利用者(子育て)支援事業の実施数 1ヶ所(27年度) | 5ヶ所 | | A◎ |
| 子ども家庭部 | 地域児童の健全な育成と子育て支援 | 放課後、保護者が仕事等により家庭にいない児童の保護・育成や、保護者の子育てと仕事の両立を支援する。 | 子ども会の利用延べ人数 432,000人(26年度) | 450,000人/年 | | A◎ |
| 福祉保健部 | 生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所している子どもの進学奨励 | 生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所している子どもに対する高校卒業後の修学支援と国家資格を活かした就業を促し、貧困の世代間連鎖を防ぐ。 | 生活保護世帯の子ども及び児童養護施設入所者の大学等進学者数 2人(27年度) | 10人(累計) | | B |
| 子ども家庭部 | ひとり親家庭の子どもの進学奨励 | ひとり親家庭の子どもに対する大学入学後の修学支援と国家資格を活かした就業を促し、貧困の世代間連鎖を防ぐ。 | ひとり親家庭奨学資金給付事業を活用した大学等への進学者数 ※新規 | 10人/年 | | A◎ |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 | | |
|--------------------------|----------------|------------|--|---------------------------|---------------------------|---------------|-----------------|--|--|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | | | |
| [基本的方向:イ]ワークライフ・バランスの実現 | | | | | | | | | |
| 3-07 | 雇用環境の改善促進 | 商工労働部 | 新卒者等の雇用促進のための企業訪問等を通じて、育児休暇や年次有給休暇の取得促進等、雇用環境の整備について働きかける。 | 訪問企業数 | 24社 (平成30年度) | 120社(累計) | 雇用機会の拡大のための企業訪問 | | |
| [基本的方向:ウ]総合的な生活支援サービスの提供 | | | | | | | | | |
| 3-08 | 地域包括ケアシステムの構築 | 福祉保健部 | 乳幼児から高齢者、障害者やその家族等、地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進し、中心市街地での質の高い魅力的な生活空間の創出や、住民、医療・福祉、行政が一体となり、一元的かつ包括的なサービスを提供する体制づくりに取り組む。 | ①[まちなかサロン]利用者数 | 9,145人/年(平成30年度) | 48,960人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | 削除 | | | | | |
| | | | | ②[こども発達支援室]児童発達支援事業等来所件数 | 5,623件(平成30年度) | 30,600件(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | ③[病児保育室]利用者数 | 966人/年(平成30年度) | 4,470人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | 削除 | | | | | |
| | | | | ④[まちなか診療所]診療患者数 | 76人/月(平成30年10月から令和元年9月実績) | 120人/月(令和6年度) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | ⑤[まちなか診療所]看取り件数 | 47人/年(平成30年10月から令和元年9月実績) | 320人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | ⑥[産後ケア応援室]宿泊・デイケア新規登録申請件数 | 303人/年(平成30年度) | 1,500人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| | | | | ⑦[産後ケア応援室]宿泊・デイケア利用実人数 | 171人/年(平成30年度) | 1,000人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | |
| ⑧[医療介護相談・支援者数] | 881人/年(平成30年度) | 4,490人(累計) | 地域包括ケアシステムの構築 | | | | | | |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|--------------------------|---------------|---|--------------------------------|---------------|----------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:イ]ワークライフ・バランスの実現 | | | | | | |
| 商工労働部 | 雇用環境の改善促進 | 新卒者等の雇用促進のための企業訪問等を通じて、育児休暇や年次有給休暇の取得促進等、雇用環境の整備について働きかける。 | 訪問企業数 | 24社 (27年度) | 24社/年 | A◎ |
| [基本的方向:ウ]総合的な生活支援サービスの提供 | | | | | | |
| 福祉保健部 | 地域包括ケアシステムの構築 | 高齢化の進展が著しい中心市街地において地域包括ケア拠点施設を整備し、各種事業を展開する。乳幼児から高齢者、障害者やその家族等、地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進し、中心市街地での質の高い魅力的な生活空間の創出や、住民、医療・福祉関係者、行政が一体となり、患者や家族を支える体制を構築する。 | ①[まちなかサロン]利用者数 | ※新規 | 250人/月 | A◎ |
| | | | ②[地域連携室]多職種連携・市民啓発事業参加者数 | ※新規 | 2,180人/年 | A◎ |
| | | | ③[こども発達支援室]児童発達支援事業等延べ利用者数 | ※新規 | 470人/月 | AO |
| | | | ④[病児保育室]病児病後児及びお迎え型体調不良児保育利用者数 | ※新規 | 830人/年 | A◎ |
| | | | ⑤[カンファレンスルーム]事例検討数 | ※新規 | 48件/月 | A◎ |
| | | | ⑥[医療介護連携室]相談・支援者数 | ※新規 | 720人/年 | A◎ |
| | | | ⑦[まちなか診療所]在宅診療患者数 | ※新規 | 60人/月 | A◎ |
| | | | | | | |
| | | | ⑧[産後ケア応援室]居室・集団・個別利用者数 | ※新規 | 2,972人/年 | B |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 | |
|--------------------|-----------------------------|---------|--|---|-------------------------------------|------------------|------------------------------|--|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | | |
| 3-09 | 高齢者の外出機会の促進 | 教育委員会 | 高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深める。 | ①市内の孫とおでかけ支援事業対象施設の総入場者数に占める本事業の利用者の割合 | 3.4%(平成30年度) | 3.4%(令和6年度) | 孫とおでかけ支援事業 | |
| | | 活力都市創造部 | | ②65歳以上の高齢者人口に占めるおでかけ定期券所有者の割合 | 24%(平成30年度) | 30%(令和6年度) | おでかけ定期券事業 | |
| 3-10 | ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上 | 企画管理部 | 道路損傷通報システムを公開し、さまざまな利用者からの共通プラットフォームへの情報提供を可能とする。 | 道路損傷通報システムへの通報件数 | 0件(平成30年度) | 100件(累計) | ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質向上事業 | |
| [基本的方向:エ]健康都市の実現 | | | | | | | | |
| 3-11 | 市民が主体的な健康づくりの推進 | 福祉保健部 | 市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むとともに、地域ぐるみで個人の健康を支え、守る環境づくりを推進する。地域・職域との連携を図るとともに、市民の健診結果のデータを活用・分析し、市民の健康づくりを推進する。 | 健康であると感じる市民の割合(「健康づくりに関する市民意識調査」より)(基本目標3に同じ) | 81.1%(平成28年度実施の「健康づくりに関する市民意識調査」より) | 86.0%(令和3年度(暫定)) | 健康づくり推進事業 | |
| [基本的方向:オ]防災減災対策の推進 | | | | | | | | |
| | 国土強靱化地域計画の推進 | 企画管理部 | 個別事業なし | | | | | |
| 3-12 | 自主防災組織の育成支援 | 建設部 | 災害時に地域防災活動の主力となる自主防災組織の結成と育成のための支援を行う。 | 自主防災組織の組織率 | 67.2%(平成30年度) | 80.0%(令和6年度) | 自主防災組織育成事業 | |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|--------------------|-----------------------------|---|--|----------------|--------------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| 教育委員会 | 高齢者の外出機会促進 | 高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深める。 | ①孫とお出かけ支援事業による入場者数 ※主要10施設の総入場者数に占める、孫とおでかけ支援事業による入場者数の割合 | 8.4%(26年度) | 10% | B |
| | | | ②おでかけ定期券の1日平均延べ利用者数 | 2,634人/日(26年度) | 2,800人/日 | AO |
| 企画管理部 | ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上 | 自治体やライフライン事業者等が有する情報を共有化し、さらに道路陥没情報など市民から寄せられた情報を集約したデータベース(共通プラットフォーム)を構築することで、災害普及の迅速化や、市民サービスの向上を図る。 | 共通プラットフォームへの情報提供件数 | ※新規 | 800件/年 | AO |
| [基本的方向:エ]健康都市の実現 | | | | | | |
| 福祉保健部 | 市民の主体的な健康づくりの推進 | 市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むとともに、地域ぐるみで個人の健康を支え、守る環境づくりを推進する。地域・職域との連携を図るとともに、市民の健診結果のデータを活用・分析し、市民の健康づくりを推進する。 | 健康であると感じる市民の割合(「健康づくりに関する市民意識調査」より) | 79.0%(25年度) | 86% | C |
| [基本的方向:オ]防災減災対策の推進 | | | | | | |
| 企画管理部 | レジリエント・シティの推進 | 本市が直面する人口減少・高齢化やインフラの老朽化、自然災害等の課題に対し、レジリエンス(強くなやかな力)をより高めるため、国内外の関係者と連携し、レジリエンス推進計画の策定及びレジリエント・シティの実現に取り組む。 | レジリエンス戦略の策定 | ※新規 | 1レジリエンス戦略の策定 | A◎ |
| 建設部 | 自主防災組織の育成支援 | 災害時に地域防災活動の主力となる自主防災組織の結成と育成のための支援を行う。 | 自主防災組織の組織率 | 56.0%(27年8月) | 70% | AO |

【基本目標4】持続可能な都市経営・まちづくりを推進する～公共交通を軸としたコンパクトなまち～

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|-----------------------------------|-------------------------|---------|---|--|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| 【基本的方向:ア】公共交通と中心市街地の活性化 | | | | | | | |
| 4-01 | 中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出 | 活力都市創造部 | 中心市街地の公共広場の維持管理及び実験的なイベントの開催や市民イベントの支援等を通じ、まちなかの賑わいを創出するとともに、潜在利用者の開拓を行う。また、公共広場を起点としたまちなかの連携等をより一層推進し、回遊性向上を図る。 | ①グランドプラザ年間稼働率(専用使用) ②ウエストプラザ年間稼働率(専用使用) | ①92.9%(平成30年度) ②19.7%(平成30年度) | ①100%(令和6年度) ②30%(令和6年度) | まちなか賑わい広場等運営事業 |
| | | 教育委員会 | | ③TOYAMAキラリ公益施設の来館者数 | 739,344人/年(平成29年度) | 3,750,000人(累計) | |
| 4-02 | 中心市街地における大型商業施設等の誘致 | 活力都市創造部 | 市民ニーズが高く賑わいを創出する新たな大型商業施設等の中心市街地への進出を促進し、市街地再開発、空きビル再生、生活利便施設の充実等を図る。 | 新たに大型商業施設等を誘致する件数 | 4件(平成27～30年度の累計) | 5件(累計) | 大型商業施設等誘致事業 |
| 削除 | | | | | | | |
| 【基本的方向:イ】中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 | | | | | | | |
| 4-03 | まちなか居住の推進 | 活力都市創造部 | まちなかエリアにおける一定水準以上の住宅の新築・取得や賃貸住宅への転居に対し支援する。 | まちなか居住推進事業により定住化した世帯数(補助を受けた世帯数) | 70世帯/年(平成26～30年度平均) | 500世帯(累計) | まちなか居住推進事業 |
| 4-04 | 公共交通沿線の居住推進 | 活力都市創造部 | 公共交通沿線居住推進地区における一定水準以上の住宅の新築・取得や賃貸住宅への転居に対し支援する。 | 公共交通沿線居住推進事業により定住化した世帯数(補助を受けた世帯数) | 100世帯/年(平成26～30年度平均) | 900世帯(累計) | 公共交通沿線居住推進事業 |
| 【基本的方向:ウ】中山間地域等の地域生活拠点の形成 | | | | | | | |
| 4-05 | 中山間地域等の交通空白地域解消と生活交通の維持 | 活力都市創造部 | 中山間地域における交通空白地域の解消及び地域生活交通の確保のため、スクールバス機能を兼ねたコミュニティバスを運行し交通弱者の交通利便性の向上を図る。生活交通の維持・確保を目的として地域等が主体となって実施する自主運行バス等に対して支援を行う。 | 公共交通空白地域人口率(5年ごとに把握) | 2.0%(平成30年度) | 現状維持を目指す | 市営コミュニティバス運行事業・生活交通維持補助事業 |
| | | | | 公共交通1日平均利用者数の富山市人口あたりの割合(基本目標4に同じ) | 15.7%(平成30年度) | 15.8%(令和6年度) | |

(参考)第1期富山市まち・ひと・しごと総合戦略

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|-----------------------------------|-------------------------|--|------------------------------------|--|------------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| 【基本的方向:ア】公共交通と中心市街地の活性化 | | | | | | |
| 活力都市創造部 | 中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出 | 中心市街地の公共広場の維持管理及び実験的なイベントの開催、市民イベントの支援等を通じ、まちなかの賑わいを創出するとともに、潜在利用者の開拓を行う。また、こうした公共広場の単なる利活用にとどまらず、ここを起点としたまちなかの連携等を一層推進すべくイベントの開催や情報発信を行う。 | グランドプラザ年間稼働率 | 82.4%(26年度) | 100% | AO |
| | | | TOYAMAキラリ公益施設の来館者数 | ※新規 | 710,000人/年 | |
| 活力都市創造部 | 中心市街地における大型商業施設等の誘致 | 市民ニーズが高く賑わいを創出する新たな大型商業施設等の中心市街地への進出を促進し、市街地再開発、空きビル再生、生活利便施設の充実等を図る。 | 新たに大型商業施設等を誘致する件数 | ※新規 | 5件(累計) | B |
| 活力都市創造部 | 路面電車の整備による交通体系構築 | 北陸新幹線整備とこれに併せた在来線の高架化により、富山駅高架下を利用した南北の往来が可能となることから、富山ライトレールと市内電車の南北接続を行い、LRTネットワークを構築する。 | 路面電車(市内電車及び富山ライトレール)の利用者 | 17,455人/日 ①市内電車:12,179人/日 ②富山ライトレール:5,276人/日(26年度平均) | 20,000人/日 | A◎ |
| 【基本的方向:イ】中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 | | | | | | |
| 活力都市創造部 | まちなか居住の推進 | まちなかエリアにおいて一定水準以上の住宅の建設・取得等に対し支援し、定住人口の増加を図る。 | まちなか居住推進事業により定住化した世帯数(補助を受けた世帯数) | 102世帯(26年度) | 500世帯(累計) | AO |
| 活力都市創造部 | 公共交通沿線の居住推進 | 公共交通沿線エリアにおいて一定水準以上の住宅の建設・取得等に対し支援し、定住人口の増加を図る。 | 公共交通沿線居住推進事業により定住化した世帯数(補助を受けた世帯数) | 58世帯(26年度) | 350世帯(累計) | AO |
| 【基本的方向:ウ】中山間地域等の地域生活拠点の形成 | | | | | | |
| 活力都市創造部 | 中山間地域等の交通空白地域解消と生活交通の維持 | 中山間地域における交通空白地域の解消及び地域生活交通の確保のため、スクールバス機能を兼ねたコミュニティバスを運行し交通弱者の交通利便性の向上を図る。生活交通の維持・確保を目的として地域等が主体となって実施する自主運行バス等に対して支援を行う。 | 公共交通空白地域人口率(5年ごとに把握) | 2.3%(26年度) | 2.3% | A◎ |
| | | | | | | |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|------------------------|--------------------------|---------|---|---|------------------|-------------------|------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| 4-06 | 棚田保全と地域振興 | 農林水産部 | 認定棚田地域振興活動計画に基づき、指定棚田地域振興活動(多様な主体が参画する地域協議会による棚田を核とした地域振興の取り組み)を実施する地域を支援する。 | 指定棚田地域振興活動を継続実施した地域数 | 新規 | 5地域(令和6年度) | 元気な中山間地域づくり支援事業 |
| 2-03 | ふるさとでの同居促進(再掲) | 活力都市創造部 | 郊外部において子世帯が親世帯と新たに同居するために親世帯の住宅をリフォーム等した場合に支援を行う。 | ふるさと回帰リフォーム等補助事業を活用し親世帯と新たに同居した人数 | 1人/年(令和元年度見込み) | 75人(累計) | ふるさと回帰リフォーム等補助事業 |
| [基本的方向:エ]既存施設のマネジメント強化 | | | | | | | |
| 4-07 | 公共施設のファシリティマネジメントの推進 | 企画管理部 | 公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、公共施設の更新や統廃合、長寿命化等を計画的に実施する。 | アクションプラン対象の公共施設のうち、機能を維持することとした施設や、廃止等の見直しが完了した施設 | 85件(令和元年度末) | 139件(累計) | 公共施設等マネジメント推進事業 |
| | | | 削除 | | | | |
| 4-08 | 歩道のリフレッシュ整備 | 建設部 | 既成市街地の歩道は、舗装や路面標示の老朽化によるひび割れ、剥離、また街路樹の持ち上げ段差により利用者にとって通行しにくい状況となっていることから、すべての人が安心して通行できる快適な歩行者空間を確保するため、歩道のリフレッシュ整備を行う。 | 社会資本整備計画に基づく整備の実施(歩道のリフレッシュ整備延長) | - | 2.5km(整備延長) | リフレッシュ事業 |
| [基本的方向:オ]SDGs未来都市の推進 | | | | | | | |
| 4-09 | 自立分散型エネルギーインフラ・ネットワークの形成 | 環境部 | 再生可能エネルギー等で生み出した地域エネルギーのマネジメントを行い、エネルギー効率改善都市を目指す。 | エネルギー効率の改善ペース(基本目標4に同じ) | 0.5%(平成27年度) | 1.1%(令和4年度) | SDGs推進事業 |
| [基本的方向:カ]連携中枢都市圏の連携強化 | | | | | | | |
| 4-10 | 圏域全体の経済成長のけん引 | 企画管理部 | 薬用植物栽培の事業化推進事業、滞在型観光連携事業などの実施 | 圏域の総人口 | 501,670人(平成27年度) | 490,000人程度(令和6年度) | 富山広域連携中枢都市圏連携事業 |
| 4-11 | 高次の都市機能の集積・強化 | | 二次救急医療体制の確保、富山駅周辺整備事業の実施 | | | | |
| 4-12 | 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 | | 圏域内住民に対する「富山市まちなか総合ケアセンター」におけるサービスの提供、社会インフラの老朽化対策連携事業などの実施 | | | | |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|------------------------|----------------------|---|----------------------------------|----------------|-------------|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| [基本的方向:エ]既存施設のマネジメント強化 | | | | | | |
| 企画管理部 | 公共施設のファシリティマネジメントの推進 | 公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、公共施設の更新や統廃合、長寿命化等を計画的に実施する。 | 公共施設の統廃合及び業務内容の見直し累計件数 | 10件(26年度までの累計) | 48件(累計) | B |
| 企画管理部 | オープン・リノベーションの推進 | 公共施設に新たな付加価値を加えることにより、施設ももとの性能以上に、公共施設を生まれ変わらせ、さらなる集客効果や、周辺エリアの魅力の再認識を図る。 | 公共施設をリノベーションし、民間事業者のビジネスの拠点を創出 | ※新規 | 2件(累計) | A◎ |
| 建設部 | 歩道のリフレッシュ整備 | 既成市街地の歩道は、舗装や路面標示の老朽化によるひび割れ、剥離、また街路樹の持ち上げ段差により利用者にとって通行しにくい状況となっていることから、すべての人が安心して通行できる快適な歩行者空間を確保するため、歩道のリフレッシュ整備を行う。 | 社会資本整備計画に基づく整備の実施(歩道のリフレッシュ整備延長) | | 2.6km(整備延長) | B |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 施策番号 | 施策 | 部局名 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 主な個別事業 |
|--|---------------------------------------|-------|---|---------------------|---------------|-------------|------------------------------|
| | | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:キ]IoT技術等の導入によるSociety5.0の実現に向けた取組 | | | | | | | |
| 4-13 | IoTを活用した持続可能な社会の実現と次世代技術を活用した新産業の育成支援 | 企画管理部 | ①富山市センサーネットワークを実証実験環境として民間等に提供する公募事業を実施する。 | 実証実験公募採択数 | 23事業(令和元年度) | 40事業(令和6年度) | 富山市センサーネットワーク利活用促進事業 |
| | | | ②小学生にGPSセンサーを配布し、登下校路の実態調査を行うことで地域の安全向上を図る「こどもを見守る地域連携事業」を実施する。 | 事業実施小学校数 | 16校(令和元年度) | 65校(令和6年度) | 富山市センサーネットワーク利活用促進事業 |
| | | | ③部局横断組織「富山市センサーネットワーク庁内連絡会議」及び産学官民からなる「富山市スマートシティ推進協議会」等から幅広く意見を聴取するなど、IoT等を活用した業務の効率化を図ることにより、富山市のスマートシティ化を促進する。 | 庁内業務におけるIoT導入事業数 | 2事業(令和元年度) | 15事業(令和6年度) | 富山市センサーネットワーク利活用促進事業 |
| 1-04 | オープンデータの活用促進(再掲) | 企画管理部 | 市が保有する情報資産のうち、公開可能なデータの検討を進める。また、新たに観光地、文化財等の画像データの公開に向けて取り組む。 | オープンデータサイト公開データセット数 | 82件/年(平成30年度) | 125件(累計) | オープンデータ活用推進事業 |
| 3-10 | ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上(再掲) | 企画管理部 | 道路損傷通報システムを公開し、さまざまな利用者からの共通プラットフォームへの情報提供を可能とする。 | 道路損傷通報システムへの通報件数 | 0件(平成30年度) | 100件(累計) | ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質向上事業 |
| [基本的方向:ク]歩きたくなるまちづくりの推進(再掲) | | | | | | | |
| [基本的方向:ケ]新産業の創出及び民間と協働した地域経営(再掲) | | | | | | | |

| 部局名 | 施策 | 施策の内容 | KPI(重要業績評価指標) | | | 進捗評価 |
|--|----|-------|---------------|-----|-----|------|
| | | | 項目 | 基準値 | 目標値 | |
| [基本的方向:キ]IoT技術等の導入によるSociety5.0の実現に向けた取組 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| [基本的方向:ク]歩きたくなるまちづくりの推進(再掲) | | | | | | |
| [基本的方向:ケ]新産業の創出及び民間と協働した地域経営(再掲) | | | | | | |